十文字原展望台整備事業　再整備・利活用に関する
サウンディング型市場調査の対話の結果の公表

１．サウンディング型市場調査実施経緯

本調査は、対象地である十文字原展望台のトイレ整備に加え、民間活力を導入することを念頭に、今後の方針についてあらゆる選択肢を排除することなく検討するため民間事業者のノウハウや自由な発想に基づく意見・提案を求めるため実施しました。

なお、個別対話でいただいた具体的な提案内容については、知的財産権保護の観点から公表を差し控えます。

２．調査対象施設

十文字原展望台（別府市大字野田字池ノツル１２００）

３．サウンディング型市場調査のスケジュール

サウンディング型市場調査実施の公表	令和８年７月２４日（金）
事前説明会の開催	令和８年８月　７日（金）
対話(ヒアリング)の実施	令和８年９月２９日（火）

４．サウンディング型市場調査の参加者

（１）事前説明会参加者

開 催 日　　令和８年８月７日（金）
場　　所　　別府市役所１階　レセプションホール
参 加 者　　２事業者
内　　容　　事前説明会（調査の概要、対象施設情報、スケジュールなど）

（２）対話参加者

実施期間　　令和８年９月２９日（火）
参 加 者　　２事業者

５．対話結果の概要

民間事業者から提案された主な概要は次のとおりです。

事業・利活用の概要について

滞在方法の選択肢を広げるため、車泊の設備設置に関する提案や、カフェ等飲食ブースの設置、お子様も遊べる緑地の整備に関する提案をいただきました。

事業手法について

PPP／PFI 手法（BOT 方式、DBO 方式、RO 方式）や指定管理者制度などの提案をいただきました。

その他

・事業期間については、５年、１５年から２０年
・平時と有事での活用方法の変更
・市民が展望台に何を求めているかを把握し、整備に反映させる
・周遊観光につながる整備

６．対話結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディング型市場調査では、滞在選択肢を広げる提案やカフェ等飲食ブースの設置、お子様も遊べる緑地の整備に関する提案をいただきました。

今後、市としましては対話結果を参考に、本市内部での協議・検討を行い、十文字原展望台の財産有効活用の可能性について、引き続き検討してまいります。